

BB31011 政治学

2.0単位 1・2年次 秋AB火2,3

久保慶明, 辻中豊

授業概要

政治学の入門的講義。政治的なものの概念, 現代政治の分析方法などを紹介し, 政治学の進んだ学習のための手掛かりを与える。新聞等の切り抜きなど実際の政治現象への接近法も講義する。

備考

主専攻必修科目

授業形態

講義

授業の目標と概要

政治学の入門的講義。政治的なものの概念, 政治の分析方法などを紹介し, 政治学の発展的な学習のための手掛かりを提供する。政治および政治学の全体像を把握し, 政治的思考を身につけることを目指す。

授業の進行予定

(1) 政治とは, 政治学とは (2) 政治の仕組み (3) 有権者 (4) マスメディア (5) 議員と政党
(6) 官僚制 (7) 社会集団 (8) 政策過程とリーダーシップ (9) 政府体系 (10) 政治体制
(11) 政治制度 (12) 政治文化 (13) まとめ

単位取得要件

中間試験, 期末レポート, 新聞切抜きの提出, 出席点

授業外の予習復習方法

テキスト, レジユメを適宜活用すること。
また, 毎週, 講義内容に見合った新聞記事等の切り抜きを義務付ける。

教材等

以下のテキストに準拠して進める。参考文献は適宜紹介する。

1. 辻中豊『政治学入門』(放送大学教育振興会, 2012年)
2. 参考)伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め〔第3版〕』(有斐閣, 2009年)

オフィスアワー

辻中豊 月曜・金曜各17:00-19:00

共同研究棟A 306 tsujinak@sakura.cc.tsukuba.ac.jp <http://tsujinaka.net/>

久保慶明 火曜16:45-18:00

共同研究棟A 305-2

(久保)他の日時を希望する場合は適宜メールにて予約すること。

学生への要望

研究ノートをつけること。詳しくは初回の講義で解説する。

BB31021 政治思想

2.0単位 1・2年次 春AB火2,3

近藤康史

授業概要

民主主義論や国家-市民社会論を中心として、現代において論点となっている政治思想・政治理論上の諸問題について身近な例も用いながら検討する。

備考

主専攻必修科目

授業形態

講義

授業の目標と概要

現代の政治的・社会的変容を念頭に置き、身近に起こっている政治現象などを取り上げながら、政治思想・政治理論の現代的諸論点について考えていきたい。その過程で、各人が、「自由」「平等」「公共性」「民主主義」といった政治的概念について自分なりに考え、またそれを生かして、現代政治に対する自分なりの視角を獲得することを目標とする。

授業の進行予定

具体的な講義内容は以下の通り。進行状況によって、若干の変更がありうる。

1. 現代政治の変容:福祉国家の揺らぎ、国民国家の揺らぎ、脱伝統社会 (第1週～第3週)
2. 政治思想の現代的展開:リバータリアン/コミュニタリアン、ラディカル・デモクラシー(第4週～第7週)
3. 政治的概念の変容:自由、平等、公共性、「政治的なるもの」(第8週～第10週)

単位取得要件

中間レポート(4割)+学期末試験(6割)

授業外の予習復習方法

前回の内容を復習した上で講義に臨むこと。参考文献は講義中に提示するので、より発展的な内容について知りたい学生は活用すること。

教材等

教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に提示する。

オフィスアワー

学生への要望

BB31031 政治外交史

2.0単位 1・2年次 春AB金3,4

松岡完

授業概要

第二次大戦後の「冷戦」の時代を中心に、20世紀の国際政治の歴史を概観する。教科書は松岡「20世紀の国際政治」改訂増補版(同文館)

備考

▼社会・国際学群 コア・カリキュラム BC11651と同一。主専攻必修科目。

授業形態

講義

授業の目標と概要

現代の国際政治で生じているさまざまな事件の歴史的背景を知り、現代世界の序曲となった冷戦時代を中心に国際政治の歩みを把握すること。

授業の進行予定

(1) 序論/アメリカの世紀とは (2) 第一次世界大戦/第二次世界大戦 (3) 冷戦の開始/冷戦の激化と欧州の分断 (4) 中国革命/朝鮮戦争 (5) インドシナ戦争と日本/平和共存路線の模索 (6) 西欧の防衛と統合/中東の戦火 (7) 動揺する社会主義陣営/東西対立の再燃 (8) KK時代と多極化世界/革命とミサイル (9) ヴェトナム戦争/デタント外交 (10) 激化する地域紛争/冷戦の終焉とその後/結論

単位取得要件

学期末レポート

授業外の予習復習方法

授業と並行してテキストを読み進めること。それぞれの興味関心にもとづいて、関連する書籍(テキストに記載の参考文献など)を読み、現代国際政治の歴史について考えること。

教材等

1. 松岡 完『20世紀の国際政治』同文館、改訂増補版、2003年、3400円。

オフィスアワー

金曜日11時30分~12時

人文社会学系棟 A403 matsuoka@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

歴史は細切れで学んでも無意味。できるだけ授業全体の受講をつうじて、過去・現在・未来について考えるきっかけにして欲しい。

BB31102 政治学外書講読I(英語)

1.0単位 2・3年次 春AB火4

明石純一

授業概要

政治学に関する英語文献を講読する。

備考

社会学類の学生の受講を優先する。

授業形態

演習

授業の目標と概要

政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。

授業の進行予定

テキストを指定し、受講者による内容報告をもとに討論、解題を行う。

単位取得要件

出席、報告内容、レポート(もしくは学期末試験)により総合的に判断する。

授業外の予習復習方法

教材等

テキストは開講時に指示する。

オフィスアワー

Eメールにより随時

人文社会学系棟 A319 akashi.junichi.fu@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

BB31141 アメリカの政治

2.0単位 2 - 4年次 春AB金1,2

鈴木創

授業概要

アメリカの政治制度と政治過程の特質を、主として国内政治に焦点を置いて論じる。

備考

西暦奇数年度開講。

授業形態

講義

授業の目標と概要

アメリカの国内政治に関する基本的な理解を獲得する。単に法的・形式的な制度を理解するだけでなく、制度が実際にどう運用されているか、それらが政治的決定や政治的行動をどう構造化しているのか、それらがなぜ存在しているのかといった点についても考察する。

授業の進行予定

以下の流れで講義を進める予定。ただし、進み具合などによって変更する可能性もある。

1. はじめに 2. 連邦制 3. 議会 4. 大統領制 5. 官僚制と裁判所 6. 政党と選挙 7. 利益団体

単位取得要件

学期末試験

授業外の予習復習方法

教材等

教科書は特に指定しない。レジユメを配布するので、事前に目を通して授業に臨むこと。

参考文献は随時紹介する。

オフィスアワー

予約により随時。

人文社会学系棟 B408 853-5884

学生への要望

BB31142 政治学演習II

3.0単位 4年次 通年木6

久保慶明, 辻中豊

授業概要

現代政治を分析するために、問題意識、文献の体系的レビュー、データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで経験的な分析方法を踏まえて、3年次レビュー論文、4年次卒業論文を執筆するための論文指導をおこなう。

備考

全学群を対象とする。2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。
西暦奇数年度開講。

授業形態 演習

授業の目標と概要

社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づき、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。問題意識、文献の体系的レビュー、経験的な分析方法(データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで)を踏まえて、卒業論文を執筆する。

授業の進行予定

社会科学の方法論を1学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPOの活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。また大学院修士課程の留学生、同志望の研究生(留学生)など多国籍の学生を交えた国際的なゼミの運営を目指します。年度途中から海外に留学する学生も参加可能[継続履修あり]です。

- ・前半:関心のあるテーマの文献を読み進めながら、卒業研究の問題意識を固める
- ・前半:並行して、将来の進路、職業選択の体系的な検討。就職活動や受験準備を行う
- ・後半(7,8月以降):原著的で実証的な卒業研究にとりかかる
- ・10月:中間発表 ・12月:最終発表 ・1月:論文提出

単位取得要件

課題の提出, 研究発表, 論文提出

授業外の予習復習方法

研究(自分)ノートを作成し、演習時間の内外を問わず活用すること。

教材等 適宜指示する。

オフィスアワー

辻中豊 月曜・金曜各17:00-19:00 共同研究棟A 306 tsujinak@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
<http://tsujinaka.net/>

久保慶明 火曜16:45-18:00 共同研究棟A 305-2 (久保)木曜15:15-16:30 ゼミ生専用オフィス
アワー

学生への要望

BB31151 国際政治学

2.0単位 2 - 4年次 春AB月4,5

南山淳

授業概要

「社会科学」としての国際政治学と現実の国際政治現象は不可分の関係にあるという観点から、現代国際政治の展開を体系的に論じる。

備考

西暦奇数年度開講。

授業形態

講義

授業の目標と概要

国際政治における「理論」と「現実」の構成関係を座標軸として現代国際政治理論の批判的検証を行い、冷戦崩壊とグローバル化がもたらしたポスト・ウエストファリア体制下の世界秩序を展望する。

授業の進行予定

1現代国際政治と権力構造 2冷戦の構造化/崩壊とリアリズム 3相互依存/グローバル化とリベラル制度主義 4国際社会と英国学派 5南北格差とマルクス主義国際政治経済学 6冷戦構造の崩壊と国際政治学のアイデンティティ・クライシス 7コンストラクティヴィズムと国際政治規範の再構築

単位取得要件

学期末試験

授業外の子習復習方法

教材等

山田高敬・大矢根聡『グローバル社会の国際関係論[新版]』有斐閣; 吉川直人・野口和彦『国際関係理論』勁草書房; 南山淳『国際安全保障の系譜学』国際書院

T. Dunne, M. Kurki & S. Smith, *International Relations Theories*, Oxford U. P., 2007; J. Baylis, S. Smith & P. Owens, eds., *The Globalization of World Politics*, 4th. ed., Oxford U. P., 2008.

オフィスアワー

随時(Eメールで要予約)

E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

BB31152 比較政治学演習I

3.0単位 4年次 通年火4

鈴木創

授業概要

日本と諸外国における選挙や政策過程に関する文献を輪読し、比較の視点もまじえながら議論する。また、各自の自由な関心から文献報告・研究報告を定期的に行う。

備考

2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。
西暦奇数年度開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。

授業の進行予定

1. 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。
2. 各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する。

単位取得要件

出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。

授業外の子習復習方法

教材等

開講時に指示する。

オフィスアワー

予約により随時。

人文社会学系棟 B408 853-5884

学生への要望

各回の報告者はもちろん、全員が積極的に討論に参加することを期待する。

BB31161 現代国際政治理論

2.0単位 3・4年次 秋AB月4,5

南山淳

授業概要

「グローバル化」と「ポストモダン化」という2つの概念を軸に、冷戦後/9.11後の国際政治・国際紛争理解に不可欠な理論枠組みを、特に批判主義的な国際政治理論の観点から検討する。

備考 西暦奇数年度開講。

授業形態 講義

授業の目標と概要

「グローバル化」と「ポストモダン化」というふたつの概念を中心に冷戦後/9.11後の国際政治分析に不可欠な理論枠組みについて検討する。伝統的な国際政治理論の批判的検討および、冷戦後、急速に台頭する批判主義的国際政治理論の概説を通じて、現代国際政治分析に必要な理論的知見について論じる。「国際政治学」の修得者を対象とするが、同科目の未修得者は、山田・大矢根 編著『グローバル社会の国際関係論[新版]』(有斐閣)および吉川・野口編著『国際関係理論』(勁草書房)を熟読し、国際政治理論の基礎知識を整理した上で受講すること。

授業の進行予定

近代主権国家の出現にともなって成立したウエストファリア・システムは、常に構造的アナーキーに象徴される国際政治の基本構造の前提となってきた。肯定的な意味であれ、否定的な意味であれ、それが国際政治の認識枠組みの構築に多大な影響を及ぼしてきたことは改めて指摘するまでもない。他方、近年、著しく進展しているグローバル化は、そのような伝統的国際政治認識に根本的な修正を迫る「国際政治のポストモダン化状況」の様相を呈している。本講義では、あらゆる領域で進行する国際政治のグローバル化を捉えるための新たな理論枠組みについて、特にメタ理論構造と批判主義的な国際政治理論の観点から論じる。

【講義予定】

1冷戦構造の崩壊とIRのアイデンティティ・クライシス 2グローバル市場経済の成立とネオグラムシアン批判理論 3モダニティ批判としてのポスト構造主義IR 4グローバル/ジェンダー・ポリティクスの展開とフェミニズムIR 5視聴覚教材視聴: :時間/記憶の政治学について 6ポスト実証主義論争と国際政治理論の構造転換 (1) 7ポスト実証主義論争と国際政治理論の構造転換 (2) 8グローバルな統治性とポスト近代の国際政治学 (1) 9グローバルな統治性とポスト近代の国際政治学 (2)

単位取得要件 学期末試験、またはレポート。

教材等

南山淳『国際安全保障の系譜学』(国際書院);佐藤幸男&前田幸男 編著『世界政治を思想するI, II』(国際書院);土佐弘之編『グローバル政治理論』(人文書院);S. Burchill, et al., *Theories of International Relations*, 4th. ed., Palgrave Macmillan, 2009.

オフィスアワー

随時(メールで要予約) E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp

BB31171 国際関係史序説

2.0単位 1年次 春AB木3,4

大友貴史

授業概要

19世紀から20世紀なかばまでの国際関係の展開を分析します。主にヨーロッパ協調、第一次世界大戦、第二次世界大戦について考察します。

備考

▼社会・国際学群 コア・カリキュラムBC51031と同一。原則として国際及び社会の学生のみ履修可

授業形態

講義

科目記述

到達目標

時代、地域によって、どのような原則・理念が国家の行動に影響を与えてきたかが説明できる。

授業計画

授業計画(Schedule)*

1. イントロダクション
 2. アメリカ外交政策の軸
 3. 普遍性から均衡へ
 4. ヨーロッパ協調
 5. リアルポリティークの独走
 6. 第一次世界大戦前夜のヨーロッパ外交
 7. 第一次世界大戦にいたる軍事的仕組み
 8. ウィルソンとベルサイユ条約、ヒトラーとベルサイユ体制の崩壊
 9. 第二次世界大戦
 10. まとめ
- (*若干変更する可能性があります。)

履修要件

特になし。

成績評価

出席30%、期末試験70%をもって評価します。

教材

ヘンリー・A・キッシンジャー(岡崎久彦監訳)『外交(上)』日本経済新聞出版社1996。

(オリジナルは、Henry A. Kissinger, *Diplomacy* (NY: Simon & Schuster, 1994).)

オフィスアワー

メール等でまずアポイントメントをお取りください。

人文社会学系棟B808

x6512

takafumi.ohmoto@u.tsukuba.ac.jp

BB31172 国際政治学演習I

3.0単位 4年次 通年月6

南山淳

授業概要

国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際政治の諸問題について議論する。

備考

2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。西暦奇数年度開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

国際政治理論と国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際紛争の諸問題について検討する。

授業の進行予定

「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ(学生によるディベート)等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文(またはゼミ論文)の構成目次および概要(4000字程度)の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わない。

単位取得要件

出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文(3年次は論文概要)等による総合評価。

授業外の予習復習方法

教材等

【参考書】吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』(勁草書房); M. カルドー『新戦争論』(岩波書店); J. Baylis, S. Smith & P. Owens, eds., *The Globalization of World Politics*, 4th. ed., Oxford U. P., 2008; 高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書); 茂木秀昭『ザ・ディベート』(ちくま新書); 戸田山和久『論文の教室』(NHKブックス)

オフィスアワー

随時(メールで要予約) E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

何事についても「積極性」と「自主性」をもって行動すること。無断欠席厳禁。

BB31202 現代政治外交演習II

3.0単位 4年次 通年木2

竹中佳彦

授業概要

現代日本の政治に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰め原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指す。

備考 2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。西暦奇数年度開講。

授業形態 演習

授業の目標と概要

【授業目標】輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。

【授業概要】現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰め原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指します。

授業の進行予定

第1回 ガイダンス、輪読する書物の決定 第2回 割り当て、報告の仕方 ・第3回 論文の書き方
第4回 資料収集の方法 第5回～ 輪読(報告と討論) 9月初め ゼミ論テーマ調査(6月に用紙配付)
11月末までに、ゼミ論の第1稿を提出してもらいます。12月～1月は、ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。2月末(4年次生は1月末)までに、最終稿を提出してもらいます。

単位取得要件

エントリーシートを提出し、受講許可を得た者のみ履修できます。ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を3回した場合には履修放棄したものとみなします。報告が悪い場合には何度でも報告してもらいます。

教材等

受講者と相談のうえ決定します。論文の書き方等については、中道寿一編『政策研究』(福村出版、2011年)。

オフィスアワー

原則として学期中の木曜3時限

人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

ゼミ論文は、400字×20枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで40字×30行/頁とし、デジタルデータおよびアウトプリントを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。

BB31232 東洋政治思想演習I

3.0単位 4年次 通年火5

古田博司

授業概要

今われわれの生きている世界は、近代が終わったポストモダンの世界であり、グローバルリーダーを失ったGゼロの世界であり、こちら側の普遍性が吹き飛んでしまった理想なき世界である。この危機の現代に、われわれの為すべきことは山ほどある。考えながら、サイの角のように一人で歩め！ 歩めるようになるまで、私が手助けしよう。

備考

2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。
西暦奇数年度開講。
教室は3K219。

授業形態

演習

授業の目標と概要

古田博司著『「紙の本」はかく語りき』(ちくま文庫オリジナル、2013年1月)を輪読し、人文系と社会系を統合する新しい人文社会科学の創出について考える。古くて使えなくなった社会科学のディシプリンを大胆に初期化し、アベイラブルなアカデミック・キャピタリズムの方向性を目指す。

授業の進行予定

- 第1回 第一章 キュレーションを人文社会科学に応用する。
- 第2回 第二章 直観をとぎすまし、超越を試みる。
- 第3回 第三章 グローバリゼーションの意味を考える。
- 第4回 第四章 古いディシプリンをイニシャルゼートする。

単位取得要件

出席点と適宜課外レポート

授業外の予習復習方法

特になし

教材等

1. 古田博司著『「紙の本」はかく語りき』(ちくま文庫オリジナル、2013年1月)

オフィスアワー

金曜4限

学生への要望

クリエイティブであること。

BB31252 欧米政治外交史演習I

3.0単位 4年次 通年金5

松岡完

授業概要

アメリカを中心に、冷戦期およびその後の政治外交史について学ぶ。

備考

2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。
西暦奇数年度開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

アメリカを中心に、冷戦期およびその後の国際政治史について学ぶこと。口頭での報告と質疑・討論、レジュメの作成、ゼミ論文の執筆などをつうじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を積み、それを今後の研鑽の基礎とすること。

授業の進行予定

テキストの輪読や各自の研究発表を考えているが、参加者の関心を優先し、必ずしも狭い意味の「欧米政治外交史」にはこだわらず、広く国際政治史全般を学ぶ機会とする。年間の予定や授業の進め方、テキストの選定など、詳細については4月の顔合わせの際に協議する。

単位取得要件

ゼミ論文、および平常(出席を含む)点

授業外の予習復習方法

ゼミ論文の完成を念頭に、各自で広く、深く勉強をして欲しい。

教材等

オフィスアワー

金曜日11時30分~12時

人文社会学系棟 A403 matsuoka@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

第1回授業には遅刻・欠席しないこと。やむをえない場合は事前に連絡すること。無断欠席・遅刻者には受講を許可しない場合もある。

BB31261 カナダ政治

2.0単位 2 - 4年次 秋AB月1,2

岩崎美紀子

授業概要

カナダ政治を分析する軸として、1フランス系とイギリス系、2東部と西部、3連邦と州、4カナダとアメリカ、を設定する。さらに、政府と市民の観点から、1990年代に自由党政権が行った財政再建の特徴を検討する。またカナダ連邦制の特徴を遠心力と求心力のバランスの模索ととらえ、何が遠心力となり、何が求心力となっているかを、歴史、社会、経済、文化などの観点から分析する。教科書『行政改革と財政再建』(御茶の水書房)、『分権と連邦制』(ぎょうせい)。

備考 BC11011と同一。

授業形態 講義

科目記述

カナダとアメリカは同じく北米大陸に位置する隣国であるが、銃規制や医療などに代表されるように多くの面で違いがある。カナダは先進諸国のなかで唯一「増税なき財政再建」に成功した国でもある。授業は、カナダだけを限定的に扱うのではなく、幅広い文脈にカナダを位置付け日本を含む諸国との比較の視点を取り入れながら、カナダの政治構造や国家運営を明らかにする。

到達目標

・カナダの諸地域の特徴を把握する。 ・2つの地域主義(ケベックナショナリズムと西部地域主義)を理解する。 ・財政再建の理念と手法、財政再建と行政改革が連動した理由を説明できる。

授業計画

まずカナダの地理と歴史の概要を把握する。建国の歴史を通じてカナダとアメリカの政治文化の違いと国家政府のあり方の違いをつかむ。自由党政権の財政再建がなぜ成功したかを分析する。ケベックナショナリズムと西部の疎外などカナダ国内の地域主義が国家統合にどのような影響を与えているかを、文化、社会、政治、経済などの側面から重層的につかむ。

小テストを3回程度実施する。

履修要件 前提科目は特にない。

成績評価

・授業回数の3分の2以上の出席が単位認定のためのレポート提出資格。
・成績は、小テストとレポートで評価する。

教材

教科書:『行政改革と財政再建 -カナダはなぜ改革の成功したのか-』 御茶の水書房

参考書:『カナダの政治』ミネルヴァ書房、『カナダの歴史』山川出版社、『分権と連邦制』ぎょうせい、『カナダ連邦制の政治分析』御茶の水書房

オフィスアワー 事前にEmailで連絡しアポイントメントをとる。

BB31272 現代政治分析演習I

3.0単位 4年次 通年火6

近藤康史

授業概要

現代政治上重要となっている諸論点について分析し、議論する。政治理論・思想と現実の政治とを結びつけつつ、多角的に検討する。

備考 2010年度以前入学者(2012年度以前編入学者を含む)のみ受講可。西暦奇数年度開講。

授業形態 演習

授業の目標と概要

(1)文献報告あるいは研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。特に1)様々な政治分析の理論・方法について理解し、2)実際に政治分析を行う力を養うことを目標とする。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。

(2)各自が選んだテーマに関し、自分なりの視角から研究し、卒論あるいはゼミ論を執筆する。

授業の進行予定

【春学期】

現代政治上の諸テーマに関する文献を読み、議論する。扱う論文は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上のアクチュアルな論点を対象としながら、理論や方法、比較など、政治分析の基礎的な手法を実践的に学べるものを取り上げる予定。これらの過程で文献の読み方やレジュメのまとめ方、政治学の論文の書き方などを学ぶとともに、今後の研究に向けて、各自の関心を絞っていく。

【秋学期】

卒論あるいはゼミ論に関する研究発表を順次行う。

【その他】

他大学との交流として、一橋大学との合同ゼミを行う(例年11月頃)。

単位取得要件

出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断。

授業外の予習復習方法

(1)テキスト(週に新書半分ないし論文1本程度)を読んでもらうことが求められるとともに、自らの状況に応じて(2)各自の関心に従ってその他の政治学文献を読むこと、(3)新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。

教材等

オフィスアワー

学生への要望

BB31321 日本政治思想

2.0単位 2 - 4年次 春AB木4,5

竹中佳彦

授業概要

「昭和」期の知識人の言動を題材にして、今日の問題がいかにして形成されてきたかを考える。

備考

西暦奇数年度開講。BC11621と同一。

授業形態

講義

授業の目標と概要

【授業目標】「昭和」期の知識人の言論活動を通して今日の問題の理解を深めること。

【授業概要】1930年代から1960年ごろまでの日本の思想状況を、最高裁判所長官を務めた横田喜三郎元東大教授(国際法)を軸に、同時代の知識人の言論も対比しつつ、考察します。

授業の進行予定

受講生の理解度等によって進度と内容が変わりうることをあらかじめご了承ください。

第1回 開講の辞(ガイダンス) 第2回~第5回 日本における「自由主義」 第6回~第10回 満州事変前後から日中戦争開始まで 第11回~第13回 太平洋戦争中 第14回~第17回 占領期 第18回~第20回 講和から安保改定まで

単位取得要件

原則として試験により評価します(試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。

授業外の予習復習方法

教材等

教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジュメを配付する予定です。予習・復習のための参考文献として、

1. 竹中佳彦『日本政治史の中の知識人』上・下、木鐸社、1995年。
- その他の参考文献は、適宜、指示します。

オフィスアワー

原則として学期中の木曜3時限

人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

予習・復習を行ってください。

BB31331 東洋政治思想

2.0単位 2 - 4年次 秋AB金5,6

古田博司

授業概要

東アジアの政治思想について学び、外交・安保問題を考える。リアリストの政治学で講義を行う。前提は、Gゼロの世界、国家の攻撃力、国家間の相互不信という、今日顕在化した世界システムのあり方に立脚する。概要は、1東アジアという物語の終焉 —「東アジア文化圏」は無かった—2アジア主義者たちの蹉跌 —戦後リベラリストの「平和主義」と「アジア贖罪意識」の終わり—3東アジア・イデオロギーを超え—東アジア「反日」トライアングル形成史—4東アジアにおける核の不均衡 —独裁・非人権の「遅れてきた帝国主義者」中国、前近代に退化した王朝国家北朝鮮—。その都度、尖閣沖中国漁船体当たり事件や北朝鮮延坪島砲撃事件などの時事問題を背後の連関から解説する。なお、ビデオ・DVD併用で授業を進める。テキストは、古田博司『東アジア・イデオロギーを超えて』(新書館、読売・吉野作造賞受賞作)、古田博司『東アジア『反日』トライアングル』(文春新書)。参考文献は、櫻井よし子・田久保忠衛・古田博司「日中韓 歴史大論争」(文春新書)

備考 西暦奇数年度開講。BC11631と同一。

授業形態 講義

授業の目標と概要

東アジアの政治思想について学び、同地域の外交・安保問題を考える。概要は以下の通り。1 東アジアという概念の問題点 2日本文明圏と中華文明圏の相違点 3東アジアの安全保障問題 なお、ビデオ併用で授業を行う。

授業の進行予定

- 第1回 東アジアという物語の終焉 「アジア」・「東洋政治思想」という語彙 -西洋勢力の東第漸- 「大東亜共栄圏」・「東亜協同体」・「東アジア共同体」の虚構性 -反米の補償行為- 「東アジア文化圏」学習指導の無理 -文科省第7期学習指導要領における放棄- 東アジア世界とは果たしてあるのか? -文化内容も領域も確定できない「世界」-
- 第2回 アジア主義者たちの蹉跌 戦前のナショナリストの「国家主義」と「アジア解放」 -そして彼らは戦争へと向かった- 戦後リベラリストの「平和主義」と「アジア贖罪意識」 -そして彼らは国を売る- アジア主義とは何だったのか? -欧化・優越・連帯の三基軸構造-
- 第3回 東アジア・イデオロギーを超えて 東アジア中華思想共有圏の形成史 -礼と華夷秩序の世界- 東アジア「反日」トライアングルの形成 -そして彼らは反日へと走った- 日本文明圏と中華文化圏との永遠の決別 -「東アジア」ではない日本・38度線で「島化」した韓国-
- 第4回 東アジアにおける核の不均衡 中国一党独裁と国家総動員体制 -独裁・非人権の「遅れてきた帝国主義者たち」- 北朝鮮の世襲と核・ミサイル・マスゲーム -前近代に退化した王朝国家- 尖閣沖中国漁船体当たり事件と北朝鮮延坪島砲撃事件 -中朝韓安全保障の攻撃性- 中国・北朝鮮の「助け・裏切り・恨まず」関係の歴史 -中朝の地政学-

単位取得要件

出席点と期末テスト

授業外の予習復習方法

特になし

教材等

1. 古田博司『東アジア・イデオロギーを超えて』(新書館、読売・吉野作造賞受賞作)
2. 古田博司『東アジア『反日』トライアングル』(文春新書)

オフィスアワー

金曜4限目

学生への要望

特になし

BB31371 現代日本外交史

2.0単位 2 - 4年次 春AB金3,4

潘亮

授業概要

主に第一次世界大戦から現代までの日本外交の展開を国内政治経済の変動と国際環境の変化のなかで考察する。

備考

西暦奇数年度開講。BC11041と同一。

授業形態 講義

科目記述

戦後日本の対外政策の変遷を国際関係史と日本の国内政治の両方の文脈で検証し、「世界の中の日本」の役割を歴史的に吟味する。個々の史実よりも、戦後日本外交全体のダイナミズムの解明に重点を置く。1940年代後半から1970年代後半までの歴史を中心に議論を進める。

到達目標

1. 戦後日本外交の歴史的背景への理解を深めること
2. 外交と内政との関連についての認識を深めること
3. 異なる視点から歴史や外交問題を分析する能力を習得すること

授業計画

1. 序説
2. 占領下の政治と外交(1): 統治の二重構造をめぐる国内政治
3. 占領下の政治と外交(2): 敗戦国としての外交
4. 復興期の政治と外交(1): 1950年代の政治変動
5. 復興期の政治と外交(2): 国際社会への復帰
6. 高度成長期の政治と外交(1): 自民党一党優位体制の確立
7. 高度成長期の政治と外交(2): 経済大国日本の登場
9. 二つの「多極化時代」(1): 1970年代の政治と政党
10. 二つの「多極化時代」(2): デタントの盛衰と日本外交

履修要件

特に要件を設けないが、高校日本史及び世界史程度の知識を事前に習得しておくことが望ましい。

成績評価 期末筆記試験(ノートのみ持ち込み可)によって評価する。

教材 教科書を特に指定しない。授業中、レジュメを配布する。

オフィスアワー

事前にメールでアボを取ること。 leon@dpipe.tsukuba.ac.jp

BB31381 アメリカ外交史

2.0単位 2 - 4年次 秋AB金3,4

松岡完

授業概要

ベトナム戦争の歴史を中心に、20世紀、とりわけ冷戦期の国際政治の歩みをふりかえる。教科書は、松岡『ベトナム戦争』(中公新書)。

備考

「欧米政治外交史II」(BB31391、BC11671)既修者は受講不可。BC11661と同一。原則として「政治外交史」既修者を対象とする。

授業形態 講義

授業の目標と概要

現代の国際政治を理解するうえで重要な意味を持つベトナム戦争について学ぶ。これを手がかりに、冷戦、地域紛争、地域統合、現代アメリカ外交、民族主義、現代戦争など、国際政治のさまざまな側面について考察を深める。

授業の進行予定

(1) 序論~ベトナム戦争に何を見るか (2) 米ソ冷戦の狭間で~大国と小国の微妙な関係 (3) 赤き旗のもとに集いて~民族解放戦線・北ベトナム・中国の軋轢 (4) 破綻する国家建設戦略~アメリカと南ベトナムの軋轢 (5) 地域防衛と地域創造~ベトナム戦争と東南アジア (6) アメリカの本当の敵~世論に背かれた戦争 (7) 建国200年目の敗戦~ベトナム症候群とは (8) 復活途上の超大国~冷戦勝利と9・11の影響 (9) 窮屈な制約の中で~アメリカ式戦争花盛り (10) 結論~ベトナム戦争と現代世界

単位取得要件

学期末レポート

授業外の予習復習方法

授業と並行してテキストを読み進むとともに、各人の興味関心に従って、関連するさまざまな本などに接すること。

教材等

松岡 完『ベトナム戦争』中公新書、2001年、900円。

オフィスアワー

金曜日11時30分~12時 人文社会学系棟 A403 matsuoka@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

ベトナム戦争そのものの細かな事実を理解、記憶するのではなく、これをきっかけに国際政治や現代戦争など、広範な問題に目を向けて欲しい。

BB31411 現代政治外交II

2.0単位 2 - 4年次 秋AB木4,5

竹中佳彦

授業概要

日本を取り巻く外交・防衛について概説し、現在、日本が置かれている政治・外交上の諸問題について考えるための材料を提供したい。IIは、1970年代半ば以降を中心に概説する。

備考

西暦奇数年度開講。

授業形態

講義

授業の目標と概要

【授業目標】現代日本をめぐる政治・外交を理解するための歴史と理論・分析視角の修得。

【授業概要】1970年代後半から現在までの日本を取り巻く外交・防衛について概説し、現在、日本が置かれている政治・外交上の諸問題について考えるための材料を提供したいと思います。

授業の進行予定

受講生の理解度等によって進捗と内容が変わりうることをあらかじめご了承ください。

第1回 開講の辞(ガイダンス) 第2回~第4回 防衛計画の大綱と日米ガイドライン 第5回~第7回 日米「同盟」とロン・ヤス関係 第8回~第10回 湾岸戦争とPKO法の成立 第11回~第13回 日米安保「再定義」 第14回~第17回 イラク戦争と日本 第18回~第20回 沖縄問題

単位取得要件

原則として試験により評価します(試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。

授業外の予習復習方法

教材等

教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジュメを配付する予定です。予習・復習のための参考文献として、

1. 松岡完他編『冷戦史』同文館、2003年。

その他の参考文献は、適宜、指示します。

オフィスアワー

原則として学期中の木曜3時限

人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

予習・復習を行ってください。

BB31431 ロシア・東欧の国際関係

2.0単位 2 - 4年次 春AB月3,4

中村逸郎

授業概要

本講は、ロシア・ソ連の帝国主義的な膨張政策の要因を解明する。栄華を極めるロシアの大都会、さらには経済衰退の著しい農村で働く1500万人の外国人労働者の実態を紹介し、ロシアと旧ソ連構成国、東欧諸国の新しい国際関係を考えてみたい。ロシア社会は、もはや外国人労働者なしには成り立たない状況になっており、今後のロシアの対外関係を考察する。

備考 BC11251と同一。

授業形態 講義

科目記述

本講では、ロシア・東欧の帝国主義的な膨張政策の要因を中心に説明する。その政策は現代のロシア対外政策にも連なっており、周辺民族との軍事的な衝突、さらには東欧諸国、ときには欧米諸国、日本との政治的な軋轢を生んでいる。

到達目標

1. ロシアの伝統的な対外政策の特徴を説明できる。 2. ロシア国内の民族独立運動の歴史を概説できる。 3. ロシアとイスラム諸国との外交関係について説明できる。 4. ロシアと日本の関係史を辿ることができる。

授業計画

以下の項目を中心に講義を進める。

第1回 ロシア帝政時代の帝国主義的な膨張政策 第2回 スターリン時代の民族政策
第3回 ソ連時代の天然資源外交 第4回 冷戦時代におけるソ連の対米政策
第5回 北方領土交渉の実態 第6回 ロシアと中国、韓国、北朝鮮の対外関係
第7回 ロシアへの移民労働者の流入 第8回 ロシア国内の民族主義の台頭
第9回 ロシアと中東諸国の対外関係 第10回 旧ソ連圏の再編

履修要件 特になし。

成績評価 重厚な論述試験等で評価する。

教材

以下は参考書。

1. 中村逸郎『虚栄の帝国ロシア』岩波書店、2007年

オフィスアワー

nakamura@dpipes.tsukuba.ac.jp

BB31441 ロシア政治

2.0単位 2 - 4年次 秋AB木3,4

中村逸郎

授業概要

「プーチンの時代」とは、ロシア市民にとってどういう時代なのでしょう。本講のねらいは、プーチン政治支配のメカニズムを明らかにすることにあります。政府、連邦議会、そして地方政府からメディアまでを掌握し、いまや絶大な権力をもつにいたったプーチン大統領。劣悪を極める生活インフラ、破綻した行政サービス、相次ぐテロの恐怖のもとで「慈父たる皇帝としてのプーチン」にすぎるほかない市民生活をとおしてロシア現代政治の特質を浮き彫りにします。

備考 BC11031と同一。

授業形態 講義

科目記述

「プーチンの時代」とはロシア人にとって、どのような政治的な特質があるのだろうか。本講の目的はプーチン政治支配のメカニズムとダイナミズムを解明すると同時に、ロシア帝政時代、さらにはソ連時代にも通じる政治文化の特徴についても考察する。

到達目標

1. ロシアの政治文化の特徴を説明できる。 2. ロシア・ソ連の民衆の政治意識について理解している。 3. ロシアの中央と地方の関係について説明できる。 4. ソ連共産党支配の実態を説明できる。

授業計画

基本的に以下のように講義を進める。ロシア国内で突発的な政治事象が発生したときには、その内容を紹介しながら、ロシアの政治文化、政治制度等について説明する。

第1回 「皇帝」プーチン政治とロシア帝政の比較 第2回 プーチン時代の官房政治と議会政治の衰退 第3回 プーチンとロシア正教会の癒着 第4回 プーチン時代の連邦支配の強化 第5回 現代ロシア社会における公共性をめぐる民衆のなかの葛藤 第6回 法支配の伝統的な形骸化の実態 第7回 政財界の癒着の原因 第8回 ソ連共産党によるソビエト支配のメカニズム 第9回 ソ連時代に形成された企業城下町の実態 第10回 ロシア民主主義の可能性

履修要件 特になし。

成績評価 重厚な論述試験等で評価。

教材

- 下記の書物は参考書。1. 中村逸郎『ろくでなしのロシア—プーチンとロシア正教』講談社、2013年
2. 中村逸郎『ロシアはどこに行くのか—タンデム型デモクラシーの限界』講談社現代新書、2008年
3. 中村逸郎『帝政民主主義国家ロシア—プーチンの時代』岩波書店、2005年
4. 中村逸郎『ロシア市民』岩波新書、1999年

オフィスアワー 事前に面会日時を確定すること。 nakamura@dpipes.tsukuba.ac.jp

BB31451 アジアの国際関係

2.0単位 2 - 4年次 春AB月5,6

首藤 もと子

授業概要

東アジアの国家形成と開発政策および地域主義の変容について講義する。また、グローバル化時代のアジア政治の課題として、人権保障と民主化、FTAの急増と越境労働移動、「市民社会」の課題等を考察する。

備考 BC11221と同一。

授業形態 講義

科目記述

東アジアおよびアジア太平洋地域における地域主義の変遷と、グローバル化がもたらすアジアの国際政治経済学の課題や越境的なガバナンスの課題について、分析の枠組みを提示し、問題への理解を深めるようにします。

到達目標

1 冷戦後のアジアの国際関係の特徴について説明できる。 2 ASEANをハブとする東アジアの地域主義の特徴と課題について説明できる。

授業計画

第1回 21世紀のアジアの国際関係-歴史的なパワーシフトとグローバルな課題 第2回 アジアにおけるナショナリズムと地域主義の展開-冷戦期のアジアの地域主義、東アジアと南アジアの国際構造の相違 第3回 グローバル化時代における重層的な地域主義の機能と制度 第4回 ASEANとハブとするアジアの多国間制度の多様化-アジアの多国間安全保障レジームの評価 第5回 「ASEAN+3」をめぐる日本と中国の外交 第6回 ASEAN安全保障共同体とミャンマー問題 第7回 ASEAN経済共同体と域外諸国・地域とのFTA/EPA交渉の課題 第8回 越境的な問題への地域的ガバナンスの課題 第9回 人の国際移動に関する地域的ガバナンスの課題 第10回 アジアにおける越境的な市民社会の可能性と課題

履修要件 2年生以降の履修を勧めます

成績評価 出席と中間レポートおよび学期末試験を総合的に評価します

教材

授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に、以下の文献は教科書に準じる頻度で使用します。
山影進編『新しいASEAN-地域共同体とアジアの中心性を目指して』アジア経済研究所、2011年。
山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011年。
岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009年。
その他

オフィスアワー メールで事前に連絡してください

BB31461 アジア政治

2.0単位 2 - 4年次 秋AB月5,6

首藤 もと子

授業概要

東アジア・南アジアにおける政治制度の特徴を比較検討し、グローバル化によるそれらの変容について講義する。特に政党と選挙制度、地方分権化の制度と現状、ガバナンス向上の課題等について比較検討する。

備考 BC11021と同一。

授業形態 講義

科目記述

東南・南アジアの政党制度と選挙制度、軍の政治的機能の変遷、経済政策とガバナンスの課題について、比較考察します

到達目標

1 アジア諸国の政治を比較するうえで、多様な統治機構の固有の特徴を説明できる。 2 アジア諸国の政治を比較するうえで、普遍的な視点を説明できる。 3 グローバル化時代におけるアジア政治の課題について説明できる。

授業計画

第1回 (1)アジア政治を考える視点

第2回 (2) 国家形成と軍の政治的機能ーインドネシア、ミャンマー、パキスタンの事例

第3回 (3)アジア諸国の統治機構

1. 非民主的民主制度の改革の課題:フィリピンの民主制度の理念と現実

第4回 2. 議会制民主制度と覇権的与党連合体制:マレーシアの政治制度と経済開発戦略

第5回 3. グローバル化時代の国家管理体制:PAPの開発戦略と新たな課題

第6回 4. 多様性と民主的制度の調和の模索:インドネシアの新たな開発戦略とその課題

第7回 5. 民主化と保守的権力エリート層の対峙:タイ

第8回 6. インドの政党政治の変容:民主的制度と社会構造

第9回 (4) グローバル化時代におけるアジア政治の課題

1. 民主主義とポピュリズム

第10回 2. 腐敗とガバナンスの課題

履修要件

成績評価

出席(25%)と中間レポート(30%)および学期末試験・または期末レポート(45%)を総合的に評価しま

す。

教材

授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に参考書については、授業で随時紹介します。

以下のものは、参考書として、テーマに応じて利用します。

中村正志編『東南アジアの比較政治学』アジア経済研究所、2012年。

船津鶴代・永井史男編『変わりゆく東南アジアの地方自治』アジア経済研究所、2012年。

山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011年。

K. Mizuno and Pasuk Phongpaichit eds., *Populism in Asia*, Kyoto University Press, 2009. .

岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009年。

その他

オフィスアワー

BB31491 計量分析入門

2.0単位 2 - 4年次 秋AB月・木3

崔 宰栄

授業概要

計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、社会科学等の多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、そのツールを正しく使うための基礎統計や使い方について講義する。

備考

授業形態 講義

授業の目標と概要

計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、社会科学等の多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、そのツールを正しく使うための基礎統計や使い方の理解を目標とする。

授業の進行予定

授業目標: 計量分析に必要とする基礎統計とその分析ツールの理解

第1回 計量分析の概要 第2回 度数分布表・図 第3回 度数分布表・図 第4回 代表値(平均など) 第5回 散布度(偏差、標準偏差、分散など) 第6回 相関分析 第7回 相関分析
第8回 回帰分析 第9回 回帰分析 第10回 SPSSの使い方など

授業では、統計の基本概念などの理解と、分析ツール(主にエクセルを使用、SPSS未定)を用いた演習を行なう。

単位取得要件

出席、レポートにより総合評価する。

但し、出席回数3分の2以下の場合、単位取得資格外となる。

授業外の予習復習方法

教材等

オリジナルテキスト

オフィスアワー

常時(予約要: choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)

学生への要望

BB31501 国境を越える政治

2.0単位 2 - 4年次 春AB火2,3

明石純一

授業概要

本授業では、政治学や国際関係論の理論的基礎を踏まえつつ、現代の移民や難民(国際人口移動)、国籍や市民権、エスニシティやディアスポラといった諸問題の考察を通じて、今日の国際社会の理解を深める。

備考

授業形態

講義

授業の目標と概要

【授業目標】グローバル化/トランスナショナル化の進展に伴い生じている政治情勢の変化と公共政策的課題について多角的に理解する能力を身に付ける。

【授業概要】移民や難民、国籍や市民権、社会統合や多文化共生、国際労働力移動といったテーマ・概念を適宜取り上げ、理論および具体的事例の両面から検討を進める。

授業の進行予定

第1回: 授業ガイダンス

第2回~第3回: 国家と国際社会の見方—グローバル化/トランスナショナル化の観点から

第4回~第6回: 国際移民の概況と公共政策的課題

第7回~第9回: 国際移民をめぐる世界と日本の政治動向

第10回: 中間総括

第11回~第13回: 国際労働力移動の政策的管理

第14回~第16回: 社会統合と多文化共生

第17回~第19回: 難民問題と人道規範

第20回: 総括

単位取得要件

出席、試験、レポートによる総合評価。

授業外の予習復習方法

教材等

テキストは使用せず、毎回レジメを配布。

オフィスアワー

Eメールにより随時

人文社会学系棟 A319 akashi.junichi.fu@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

BB31502 政治学外書講読II(英語)

1.0単位 2・3年次 秋AB火5

崔 宰栄

授業概要

政治学に関する英語文献を講読する。

備考

社会学類の学生の受講を優先する。

授業形態

演習

授業の目標と概要

政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。

授業の進行予定

テキストを指定し、受講者による和訳の添削をし、外書のたどしい読み方を中心とした授業を行う。

受講者は、添削された内容をしっかり見直し、授業に臨むこと。

テキストや授業の進め方の詳細については、開講時に指示する。

単位取得要件

出席・添削内容の見直し状況など総合的に評価する。

但し、出席回数3分の2以下の場合、単位取得資格外となる。

授業外の予習復習方法

教材等

オフィスアワー

常時(予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)

学生への要望

BB32122 政治学入門演習

2.0単位 2年次 春AB及び秋AB水6

鈴木創, 久保慶明

授業概要

政治学の基礎概念について, 2年生を対象として, 政治学研究への入門指導を2期に分けて行う。

備考

社会学類の学生の受講を優先する。

授業形態

演習

授業の目標と概要

【授業目標】 政治学における基礎的な概念・方法・知識の修得。

【授業概要】 政治学の基礎概念について, 2年生を対象として, 政治学研究への入門的指導を2期に分けて行う。

授業の進行予定

第1回 ガイダンス, 第2~10回 各自の報告と討論

第11回 ガイダンス, 第12~20回 各自の報告と討論単位

取得要件

授業への出席状況および各担当教員の総合評価。

授業外の子習復習方法

学期当初に担当教員が指示する。

教材等

学期当初に担当教員が指示する。

オフィスアワー

鈴木創 予約により随時。人文社会学系棟 B408 853-5884

久保慶明 火曜16:45-18:00 共同研究棟A 305-2

学生への要望

授業での報告・討論への積極的な参加と授業外の子習・復習を求める。

BB32132 政治学演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB木6

久保慶明, 辻中豊

授業概要

現代政治を分析するために、問題意識、文献の体系的レビュー、データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで経験的な分析方法を踏まえて、3年次レビュー論文、4年次卒業論文を執筆するための論文指導をおこなう。

備考

全学群を対象とする。

授業形態 演習

授業の目標と概要

社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づき、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。問題意識、文献の体系的レビュー、経験的な分析方法(データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで)を踏まえて、論文を執筆する。

授業の進行予定

社会科学の方法論を1学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPOの活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。また大学院修士課程の留学生、同志望の研究生(留学生)など多国籍の学生を交えた国際的なゼミの運営を目指します。年度途中から海外に留学する学生も参加可能[継続履修あり]です。

・4~6月:受講者の関心に応じて共通のテキストを選定し、論文の書き方を研究する。この間、OHを利用して問題意識を文章化し、6月にProposalを発表する
・夏休み:日本と世界の文献の体系的収集とレビュー
・9~10月(合宿を予定):中間発表(A4で10ページ以上)
・10~11月:共通のテキストを用いて方法論を研究する
・12月:最終発表
・1月:論文提出

単位取得要件

課題の提出、研究発表、論文提出

授業外の予習復習方法

研究(自分)ノートを作成し、演習時間の内外を問わず活用すること。

教材等

適宜指示する。

オフィスアワー

辻中豊 月曜・金曜各17:00-19:00

共同研究棟A 306 tsujinak@sakura.cc.tsukuba.ac.jp <http://tsujinaka.net/>

久保慶明 火曜16:45-18:00 共同研究棟A 305-2 (久保)木曜15:15-16:30 ゼミ生専用オフィスアワー

学生への要望

BB32152 比較政治学演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB火4

鈴木創

授業概要

日本と諸外国における選挙や政策過程に関する文献を輪読し、比較の視点もまじえながら議論する。また、各自の自由な関心から文献報告・研究報告を定期的に行う。

備考

授業形態
演習

授業の目標と概要

日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。

授業の進行予定

1. 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。
2. 各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する。

単位取得要件

出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。

授業外の子習復習方法

教材等

開講時に指示する。

オフィスアワー

予約により随時。

人文社会学系棟 B408 853-5884

学生への要望

各回の報告者はもちろん、全員が積極的に討論に参加することを期待する。

BB32172 国際政治学演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB月6

南山淳

授業概要

国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際政治の諸問題について議論する。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

国際政治理論と国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際紛争の諸問題について検討する。

授業の進行予定

「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ(学生によるディベート)等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文(またはゼミ論文)の構成目次および概要(4000字程度)の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わない。

単位取得要件

出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文(3年次は論文概要)等による総合評価。

授業外の予習復習方法

教材等

吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』(勁草書房); M. カルドー『新戦争論』(岩波書店); J. Baylis, S. Smith & P. Owens, eds., *The Globalization of World Politics*, 4th. ed., Oxford U. P., 2008; 高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書); 茂木秀昭『ザ・ディベート』(ちくま新書); 戸田山和久『論文の教室』(NHKブックス)

オフィスアワー

随時(メールで要予約)

E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

何事についても「積極性」と「自主性」を持って行動してください。無断欠席厳禁。

BB32192 現代政治外交演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB木2

竹中佳彦

授業概要

現代日本の政治に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰め原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指す。

授業形態 演習

授業の目標と概要

【授業目標】輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。

【授業概要】現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰め原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指します。

授業の進行予定

第1回 ガイダンス、輪読する書物の決定 第2回 割り当て、報告の仕方 第3回 論文の書き方

第4回 資料収集の方法 第5回~ 輪読(報告と討論) 9月初め ゼミ論テーマ調査(6月に用紙配付)

11月末までに、ゼミ論の第1稿を提出してもらいます。12月~1月は、ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。2月末(4年次生は1月末)までに、最終稿を提出してもらいます。

単位取得要件

ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を3回した場合には履修放棄したものとみなします。

報告が悪い場合には何度でも報告をしてもらいます。

授業外の予習復習方法

教材等

受講者と相談のうえ決定します。論文の書き方等については、中道寿一編『政策研究』(福村出版、2011年)。

オフィスアワー

原則として学期中の木曜3時限

人文社会学系棟 B410 6533 takenaka.yosihiko.ft@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

エントリーシートを提出し、受講許可を得た人のみ履修できます。ゼミ論文は、400字×20枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで40字×30行/頁とし、ファイルおよびアウトプットを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。

BB32232 東洋政治思想演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB火5

古田博司

授業概要

今われわれの生きている世界は、近代が終わったポストモダンの世界であり、グローバルリーダーを失ったGゼロの世界であり、こちら側の普遍性が吹き飛んでしまった理想なき世界である。この危機の現代に、われわれの為すべきことは山ほどある。考えながら、サイの角のように一人で歩め！ 歩めるようになるまで、私が手助けしよう。

備考

教室は3K219。

授業形態

演習

授業の目標と概要

古田博司著『「紙の本」はかく語りき』(ちくま文庫オリジナル、2013年1月)を輪読し、人文系と社会系を統合する新しい人文社会科学の創出について考える。古くて使えなくなった社会科学のディシプリンを大胆に初期化し、アベイラブルなアカデミック・キャピタリズムの方向性を目指す。

授業の進行予定

- 第1回 第一章 キュレーションを人文社会科学に応用する。
- 第2回 第二章 直観をとぎすまし、超越を試みる。
- 第3回 第三章 グローバリゼーションの意味を考える。
- 第4回 第四章 古いディシプリンをイニシャルゼートする。

単位取得要件

出席点と適宜課外レポート

授業外の予習復習方法

特になし

教材等

1. 古田博司著『「紙の本」はかく語りき』(ちくま文庫オリジナル、2013年1月)

オフィスアワー

金曜4限

学生への要望

クリエイティブであること。

BB32252 アメリカ外交史演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB金5

松岡完

授業概要

アメリカを中心に、冷戦期およびその後の政治外交史について学ぶ。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

アメリカを中心に、冷戦期およびその後の国際政治史について学ぶこと。口頭での報告と質疑・討論、レジュメの作成、ゼミ論文の執筆などをつうじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を積み、それを今後の研鑽の基礎とすること。

授業の進行予定

テキストの輪読や各自の研究発表を考えているが、参加者の関心を優先し、必ずしも狭い意味の「アメリカ外交史」にはこだわらず、広く国際政治史全般を学ぶ機会とする。年間の予定や授業の進め方、テキストの選定など、詳細については4月の顔合わせの際に協議する。

単位取得要件

ゼミ論文、および平常(出席を含む)点

授業外の予習復習方法

ゼミ論文の完成を念頭に、各自で広く、深く勉強をして欲しい。

教材等

オフィスアワー

金曜日11時30分～12時

人文社会学系棟 A403 matsuoka@social.tsukuba.ac.jp

学生への要望

第1回授業には遅刻・欠席しないこと。やむをえない場合は事前に連絡すること。無断欠席・遅刻者には受講を許可しない場合もある。

BB32272 現代政治分析演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB火6

近藤康史

授業概要

現代政治上重要となっている諸論点について分析し、議論する。政治理論・思想と現実の政治とを結びつけつつ、多角的に検討する。

備考

授業形態 演習

授業の目標と概要

- (1)参加者による文献報告や研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。様々な政治分析の理論・方法について理解するとともに、実際に政治分析を行う力を養うことを目標とする。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。
- (2)各自が選んだテーマに関し、自分なりの視角から研究する。

授業の進行予定

【春学期】

現代政治上の諸テーマに関する文献を読み、議論する。扱う論文は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上のアクチュアルな論点を対象としながら、理論や方法、比較など、政治分析の基礎的な手法を実践的に学べるものを取り上げる予定。これらの過程で文献の読み方やレジユメのまとめ方を修得するとともに、問題の立て方や事例選択、理論の適用のしかたなど、政治学の研究手法と論文の書き方について学ぶ。

【秋学期】

自らの研究テーマに関する発表を、順次行う。自らの関心にしたがって選択した文献の報告を行い、関心や今後の方向性の明確化を図る。

【その他】

他大学との交流として、一橋大学との合同ゼミを行う(例年11月頃)。

単位取得要件

出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断。

授業外の予習復習方法

(1)テキスト(毎週、新書半分ないし論文1本程度)を読んでくることが求められるとともに、自らの状況に応じて(2)各自の関心に従ってその他の政治学文献を読むこと、(3)新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。

教材等

オフィスアワー

学生への要望

BB32312 計量分析演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB火2

崔 宰栄

授業概要

政治学における統計的な分析手法の概念・使い方などを修得するとともに、卒論に必要とされる分析方法などを議論する。受講者の関心分野を確認し、関連分析方法などを議論する。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

政治学における統計的な分析手法の概念・使い方などを修得するとともに、卒論に必要とされる分析方法などを議論する。

授業の進行予定

受講者の関心分野を確認し、関連分析方法などを議論する。

単位取得要件

出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価。

但し、出席回数3分の2以下の場合、単位取得資格外となる。

授業外の予習復習方法

教材等

オフィスアワー

常時(予約要:choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp)

学生への要望

BB32332 国境を越える政治演習I

2.0単位 3年次 春AB及び秋AB水6

明石純一

授業概要

国際人口移動や移民政策を題材として現代社会・政治についての理解力を高める。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

【授業目標】国際人口移動や移民政策を題材とし、現代社会・政治をより深く理解するためのリサーチ能力を身に付ける。

【授業概要】受講生各自の関心にもとづきテーマを選び、研究計画を準備し、調査・分析をおこない、その結果を発表(口頭・論文)する。

授業の進行予定

- (1)関連文献の読解と報告
- (2)研究計画の作成と点検
- (3)論文の執筆と発表

単位取得要件

平常点(出席と報告内容)および論文。

授業外の予習復習方法

教材等

受講生の問題関心にもとづいて文献を選択。

オフィスアワー

Eメールにより随時

人文社会学系棟 A319 akashi.junichi.fu@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望